

雑誌『共産主義インタナショナル』
所載ア・エム・ゴーリキーの諸論文
についてのロシア共産党（ボ）中央
委員会政治局の決定草案*

下記の署名を集めて政治局に提案する――

中央委員会政治局は、『共産主義インタナショナル』第一二号にゴーリキーの諸論文、とくにその巻頭論文が掲載されたことをきわめて不適当なものとみとめる。なぜなら、これらの論文には共産主義的なものはなにもないだけでなく、多くの反共産主義的なものがあるからである。今後は決してこの種の論文を『共産主義インタナショナル』に掲載すべきではない。

レーニン

第 42 卷『ゴーリキーの諸論文についての党政治局の決定』 P267～278

一九二〇年七月三十一日に執筆 手稿によって印刷

事項訳注 P727 ～ 728

* 雑誌『共産主義インタナショナル』、1920 年第 21 号の巻頭に掲載されたゴーリキーの『ヴラヂーミル・イリイチ・レーニン』という論文、同号に掲載されたゴーリキーのウェルスあての手紙をさしている。

この論文も手紙も、レーニンにたいする心からの愛情と彼の活動にたいする感嘆の念にみちたものではあったが、個人崇拜の立場から書かれており、政治的に有害な命題をふくんでいた。ゴーリキーは、レーニンやロシア人民の役割、ロシア革命の性格を主観主義的に、実質上観念論的に評価していた。党の指導的役割、革命における労働者階級と働く農民の決定的な役割が見のがされていた。

1920 年 7 月 31 日、党中央委員会政治局はレーニンの提案を採択した。なお、レーニンの提案には、トロツキー、クレスチンスキー、カリーニンも署名している。

『共産主義インタナショナル』

コミンテルン執行委員会の機関誌。ロシア、ドイツ、フランス、イギリス、スペイン、中国の各国語で出ていた。第一号は 1919 年 5 月 1 日に発行。編集局はコミンテルンに加入するすべての党の代表から成っていた。1943 年 5 月 15 日にコミンテルン執行委員会幹部会がコミンテルン解散を決定したので、同年 6 月に廃刊になった。